

キリストが彼のエコノミーを完成する道、彼の行動の標示としての世界情勢、

主の回復の真理を彼の再来のために流布すること

聖書：ゼカリヤ 1:18-21. 3:9. 4:6-7. 5:5-11. 12:1. 使徒 5:31. 17:26-27 前半. マタイ 24:14

I. ゼカリヤ書は、神の地上でのエコノミーを完成するために、神の行動の中心性であり
普遍性であるすべてを含むキリストが、人類歴史と、人類の大きな帝国、特にペルシ
ヤ（第 1 章—第 6 章）、ギリシャとローマ（第 7 章—第 14 章）と密接に関係してい
ることを啓示しています：

A. 人類歴史の内側にある神聖な歴史の中心点は、キリストの二度の来臨が、イエスの
証し、神の建造のためであるということですから—— 4:2-3. 6:12-13：

1. ゼカリヤは、キリストが第一の来臨の時に、勝利の内にエルサレムに入ったへり
くだった王（9:9）、銀貨三十枚で裏切られた方（11:12-13）、打たれた牧者（13:7.
11:7-11）、十字架上で刺し通された方（12:10. 13:6）であることについて、予言
しています。
2. ゼカリヤは、キリストが第二の来臨の時に、彼を刺し通した者たちが見たメシア
（12:10）、オリブ山に戻って、エルサレムを包囲した諸国民と戦う方（14:3-5）、
千年王国で全地を支配する王（9 節）であることについて、予言しています。

B. 神聖な歴史の中で神のエコノミーを完成する道は、わたしたちの霊の中で七倍に強
化された霊としてのキリストによります。召会の建造は、七倍に強化された恵みの
霊として、恵みの頂石となったキリストによって究極的に完成されます—— 4:6-7,
12-14. 3:9. 12:1, 10. 啓 4:5. 5:6。

C. わたしたちは、バビロンが売買、あるいは商業の悪によって特徴づけられており、
むさぼり、欺き、金銭愛と関係があることを見なければなりません。わたしたちの
クリスチャン生活は、金銭愛がないものであるべきであり、わたしたちのクリスチ
ャンの働きは、金銭をもうける取引であってはなりません——ゼカリヤ 5:5-11. I
テモテ 3:3, 8. 6:5-10. 使徒 11:29-30. 20:33-34. II テモテ 3:2-4. ヘブル 13:5. II コリ
ント 2:17. 12:15. 参照、列王下 5:15-27：

1. バビロンによって売られた貨物で、最初の項目は金であり、最後は人の魂です。
「人の魂」は、雇われるために自分を売った人を指しています——啓 18:12-13.
参照、II ペテロ 2:3, 15。
2. これは来たるべきバビロンだけでなく、今日の世界も描写しています。人々は自
分の魂、自分の命、自分自身を彼らの職業に売り、神と彼らの永遠の運命を無視
しています——参照、ルカ 12:13-21。
3. 神の主権は、イスラエルの民が彼らの捕囚の中でバビロン人から学んだ商業にお
ける悪を、バビロン（シナルの地）に戻すようにします——ゼカリヤ 5:10-11.
創 11:2, 9。

D. キリストは、神に用いられて四つの角を砕く最後の職人です。この四つの角は、四
つの王国とその王たち、すなわちバビロン、メド・ペルシャ、ギリシャ、ローマ帝
国であり、ダニエル第 2 章 31 節から 33 節における大きな人の像の四つの部分、ヨ

エル第 1 章 4 節におけるいなごの四つの段階、ダニエル第 7 章 3 節から 8 節における四つの獣で表徴されます。彼らは神の選ばれた民に打撃を与え、破壊しました——ゼカリヤ 1:18-21 :

1. 四人の職人は神に用いられる技巧であり、これらの王国とその王たちを滅ぼします。初めの三つの王国（バビロン、メド・ペルシャ、ギリシャ）は、技巧的な方法で、それに続く王国によって取って代わられました——ダニエル 5. 8:3-7。
2. 第四の職人は、人手によらずに切り出された石としてのキリストです。彼は再来の時に、復興したローマ帝国を粉碎し、それによって人類の政権の集大成である大きな人の像を粉碎します—— 2:31-35, 44-45。
3. この粉碎する石は団体のキリスト、すなわちキリストと彼の勝利者たちであり、この勝利者たちはこの時代の終わりにおける彼の時代の手段です——ヨエル 3:11. ゼカリヤ 14:5. 啓 12:1-2, 5. 19:11-21。
4. 団体のキリスト（キリストと彼の勝利を得た花嫁）は、来て反キリストを打ち破り、人類の政権の集大成を粉碎した後、大きな山となって全地を満たし、全地を神の王国とします。この王国は新エルサレム、すなわち神聖な歴史の究極の完成の段階において、究極的に完成します—— 20:4, 6. 21:10。
5. こうして、大きな人の像は神の永遠の王国、すなわち神のかたちを持つ、神の栄光のための団体のキリストによって置き換えられます。

II. 世界情勢は主の地上での行動の標示です——使徒 5:31. 17:26-27 前半 :

- A. 不法の奥義が今日、諸国民の間で、また人類社会の中で働いています。この不法は不法の人、すなわち反キリストにおいて頂点に達します—— II テサロニケ 2:3-10 :
 1. 反キリストはサタンの権勢、サタンの具体化です。彼は神の民（神を畏れるユダヤ人とキリストを信じるクリスチャン）を迫害し、破壊します——ダニエル 8:24. 啓 12:17. 13:7。
 2. 反キリストは神の宮と神の都を破壊し、荒廃させます。彼は真理を地に投げ落とします——ダニエル 9:27. 8:12。
 3. 反キリストは事を理解する鋭敏な洞察力を持ち、いと高き方に逆らう事を語ります—— 7:8, 20, 25。
 4. 反キリストはいと高き方の聖徒たちを疲れ果てさせます—— 25 節。
 5. 最後の時代に、サタンと反キリストは、人の魂が彼らの活動の手段となることを願います——啓 18:11-13. II テモテ 3:5. 参照、ゼカリヤ 12:1。
- B. ダニエル第 2 章における大きな像の十本の指で予表される十人の王は、復興されたローマ帝国の最後のカイザルである反キリストの下にあります。このすべてはヨーロッパで起こるでしょう——啓 17:10-14 :
 1. 反キリストと人類の政権の集大成を粉碎することが起こる前に、主の回復はヨーロッパに行き、そこに根ざさなければなりません。
 2. アメリカ合衆国、ヨーロッパ、極東は、現在の世界情勢に影響を与える三つの要因です。回復はアメリカ合衆国と極東で根ざしましたが、ヨーロッパは空洞です。
 3. ダニエル第 2 章における大きな人の像に関するビジョンの究極の成就において、ヨーロッパは他のどの国や種族よりも重要です。大きな人の像の二本の足を粉碎

することは、人類の政権全体を粉碎することです。

Ⅲ. 主の回復の真理を流布することは、主の再来の準備であり、回復と復興をイスラエルだけでなく、被造物全体にもたやすためです——マタイ 24:14. 28:19. 19:28. イザヤ 11:9 :

- A. キリストの昇天の直後に、この四つのもの、すなわち福音、戦争、飢きん、死が、四頭の馬の騎手のように走り始めました。彼らは、キリストが再来するまで走り続けるでしょう——啓 6:1-8 :
1. 王国の福音が人の住む全地に拡大し、走り、競走することは、人類歴史の内側にある神聖な歴史の核です——マタイ 24:14。
 2. 王国の福音は、啓示録第 6 章 1 節から 2 節における第一の封印の白い馬で表徴され、この時代の終わりの前、すなわち大患難の時の前に全地に宣べ伝えられ、すべての諸国民に対する証しとなります。
- B. わたしたちが宣べ伝えているのは部分的な福音ではなく、完全な福音であり、マタイから啓示録までのあらゆることを含んでいます。これは神の永遠のエコノミーの福音であり、神は彼の法理的な贖いを通して、彼の有機的な救いによって、ご自身をキリストの中でその霊として、彼の選ばれた者の中に分与し、諸地方召会の中で彼のからだを建造し、彼の花嫁、彼の妻としての新エルサレムを究極的に完成し、それは彼の永遠の表現となります—— I テモテ 1:3-4. ローマ 1:1. 5:10. 啓 1:10-11. 21:2-3, 9-11. 22:1-2。
- C. 事実上、福音はすべての神聖な真理を含んでいます。新約全体が福音であり、福音としての新約は旧約によって予表されています。ですから、わたしたちは、福音は全聖書を含んでいるとすることができます。
- D. この時代における神の唯一の目的は、福音が宣べ伝えられ、キリストのからだとしての召会が建造されて、新エルサレムを究極的に完成することです——エペソ 3:8-11。
- E. キリストの栄光の福音を宣べ伝える勝利者は、白い馬の騎手となります——啓 19:11, 13-14. 参照、ローマ 10:15。
- F. 主がわたしたちに負担を与えて、福音の神聖な真理を学ばせ、彼の回復のために、この真理を至る所に流布させて、彼の復興をもたらすようにして下さいますように——イザヤ 11:9。